

大 学 院 進 学 説 明 会

配 付 資 料

入試情報	p. 1
社会人入学	p. 3
カリキュラム情報	p. 4
特徴ある教育プログラム	p. 8
奨学金情報	p. 9
研究支援	p. 10
キャリア・経済・就職支援	p. 14
進路情報	p. 17
学位論文題目	p. 20

入試情報

1. 志願者数および入学者数

修士課程

年度	募集人員	志願者数			小計	入学者数			小計
		北大	他大学	その他		北大	他大学		
2021 (R3)	90	45	129	0	174	35	58		93
2022 (R4)	90	47	191	0	238	31	77		108
2023 (R5)	90	42	209	1	252	24	76		100
2024 (R6)	90	37	168	0	205	29	69		98
2025 (R7)	90	45	172	0	217	34	61		95

博士後期課程

年度	募集人員	志願者数			小計	入学者数			小計
		北大	他大学			北大	他大学		
2021 (R3)	35	24	19		43	18	9		27
2022 (R4)	35	32	9		41	29	5		34
2023 (R5)	35	29	24		53	25	12		37
2024 (R6)	35	39	25		64	32	10		42
2025 (R7)	35	34	22		56	20	11		31

合格者数については、文学院のウェブサイトをご参照ください。

文学院トップページ » 入試情報 » 大学院文学院入試情報 » 入試・説明会日程、出願状況等
» 出願状況

2. 大学院入試情報

(1) 入学料・授業料 および 入学料減免(徴収猶予)・授業料減免制度

入学料 282,000 円

授業料 年間 535,800 円(半期 267,900 円)

※ 上記は予定額であり、今後改定される場合があります。

※ 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

納入が困難な学生に対して、減免および徴収猶予の制度があります。詳しくは下記のウェブサイトをご参照ください。

北海道大学トップページ » 学生生活 » 各種手続き・証明書 » 入学料・授業料

(2) 学生数

北海道大学トップページ » 大学案内 » 大学の紹介 » 北海道大学の概要 » 学生数

(3) 卒業・修了者数(学位授与数)

北海道大学トップページ 》 大学案内 》 大学の紹介 》 北海道大学の概要
》 卒業・修了者数(学位授与数)

(4) 大学院入試情報

文学院トップページ 》 入試情報 》 大学院文学院入試情報

(5) 過去の入試問題 (過去 5 年分を公開)

専門試験、口述試験その他のうち、文学院ウェブサイトでは著作権法上問題がないものを公開しています。出題されたすべての問題は、文学事務部教務担当窓口で閲覧できます。

文学院トップページ 》 入試情報 》 大学院文学院入試情報 》 入試過去問題

(6) 大学院進学ポータル

大学院進学希望者向けに、入試情報から入学後の経済支援、各種セミナー案内や進路情報など、大学院での研究生生活に必要な情報を網羅的に掲載しています。

文学院トップページ 》 文学院 》 大学院進学ポータル(文学院進学希望者向け情報)

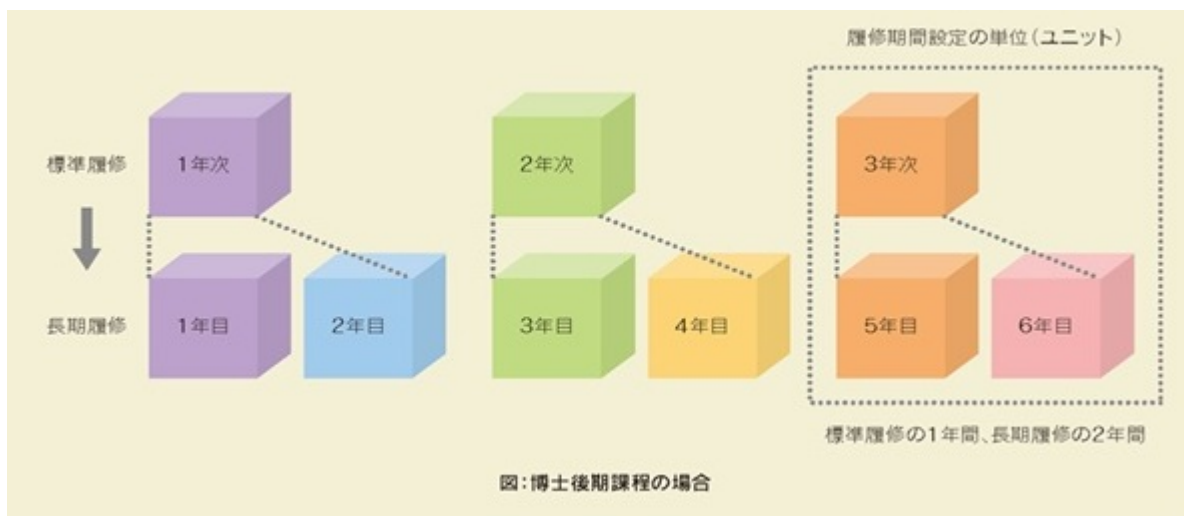


社会人入学

社会人の大学院への受け入れを円滑におこない、定められた修学年限内での学位取得を可能にするために、文学院では次のような措置がとられています。第一に、「大学院設置基準第14条による特例」にもとづき、在職の社会人は指導教員との相談のうえで講義の時間を柔軟に設定することが可能です。第二に、長期履修制度があります。時間的制約の多い社会人の修学に配慮したもので、例えば修士課程では2年間の履修を標準としていますが、それを最長4年間に延ばして修学することもできます。

●長期履修制度の解説

文学院では、長期履修制度を実施している。修士課程では2年の標準的修学期間を最長4年間に、博士後期課程では同じく3年を6年間に延長することができる。この制度は、主として時間的制約の多い社会人の修学に配慮したものであり、標準の修業年限より長い期間をかけて計画的に履修を行うためのものである。また、種々の負担によって修学に重大な影響が考えられる一般の学生にも適用されることになっている。入学時に長期履修が認められた者の授業料は、概ね標準修業年限に納付すべき授業料の額(修士課程は年額×2年、博士後期課程は年額×3年)を長期履修が認められた年数で除した額を年額として決定する。



長期履修制度

文学院トップページ » 文学院 » 長期履修制度

カリキュラム情報

北海道大学では、学部と大学院で開講されるすべての授業のシラバスを、下記のウェブサイトで検索することができます。

北海道大学トップページ 》 学生生活 》 教務情報 》 シラバス検索

各専攻の授業科目および単位数

文学院で開講される授業科目、および、修了に必要な単位数は下の表のとおりです。

1. 修士課程

人文学専攻

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	修士論文・特定課題指導特殊演習	2	7単位修得すること。
	人文社会構造論	1	
	複合環境文化論	1	
	多文化共生論	1	
	総合社会情報論	1	
	研究倫理・論文指導特殊講義	1	
選択必修科目	哲学特殊講義	2	i 特殊講義を2単位以上修得すること。 ii 特別演習及び特別実習から10単位以上修得すること。 iii 合計23単位以上を修得すること。
	倫理学特殊講義	2	
	論理学特別演習	2	
	古代中世哲学特別演習	2	
	近現代哲学特別演習	2	
	倫理学特別演習	2	
	インド哲学仏教学特殊講義	2	
	宗教学特殊講義	2	
	インド哲学仏教学特別演習	2	
	宗教学特別演習	2	
	日本史学特殊講義	2	
	日本古代史特別演習	2	
	日本中世近世史特別演習	2	
	日本近現代史特別演習	2	
	東洋史学特殊講義	2	
	東洋史学特別演習	2	
	西洋史学特殊講義	2	
	西洋史学特別演習	2	
	考古学特殊講義	2	
	考古学特別演習	2	
	北方考古学特別演習	2	
	考古科学特別演習	2	
	環境考古学特別演習	2	
	考古学特別実習	2	
	文化人類学特殊講義	2	
	文化人類学特別演習	2	
	芸術学特殊講義	2	

芸術学特別演習	2
博物館・文化財研究特殊講義	2
博物館・文化財研究特別演習	2
英米文学特殊講義	2
西洋文学特殊講義	2
英米文学特別演習Ⅰ	2
英米文学特別演習Ⅱ	2
英米文学特別演習Ⅲ	2
西洋文学特別演習	2
言語文化論特別演習	2
日本古典文化論特殊講義	2
日本古典文化論特別演習	2
文献学（国語・国文）特別演習	2
中国文化論特殊講義	2
中国思想特殊講義	2
中国語学特殊講義	2
中国文学特殊講義	2
中国思想特別演習	2
中国語学特別演習	2
中国文学特別演習	2
映像表象文化論特殊講義	2
現代表象文化論特殊講義	2
日本現代文化論特殊講義	2
映像表象文化論特別演習	2
現代表象文化論特別演習	2
日本現代文化論特別演習	2
言語学特殊講義	2
英語学特殊講義	2
西洋言語学特殊講義	2
日本語学特殊講義	2
言語学特別演習	2
英語学特別演習	2
西洋言語学特別演習	2
日本語学特別演習	2
言語分析論特別演習	2
スラブ・ユーラシア研究特殊講義	2
スラブ・ユーラシア総合研究特殊講義	2
スラブ・ユーラシア総合研究特別演習	2
スラブ・ユーラシア文化研究特別演習	2
スラブ・ユーラシア社会研究特別演習	2
スラブ・ユーラシア相関研究特別演習	2
アイヌ・先住民学特殊講義	2
アイヌ・先住民学総合特殊講義	2
アイヌ・先住民学特別演習	2
アイヌ・先住民学海外特別演習	2

備考 同一授業科目で内容の異なる授業が開講される場合は、当該授業科目を複数履修することができる。

人間科学専攻

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	修士論文・特定課題指導特殊演習	2	7単位修得すること。
	人文社会構造論	1	
	複合環境文化論	1	
	多文化共生論	1	
	総合社会情報論	1	
	研究倫理・論文指導特殊講義	1	
選択必修科目	心理学特殊講義	2	i 特殊講義を2単位以上修得すること。 ii 特別演習を10単位以上修得すること。 iii 合計23単位以上を修得すること。
	認知理論特別演習	2	
	行動理論特別演習	2	
	知覚情報論特別演習	2	
	表象構造論特別演習	2	
	知識構造論特別演習	2	
	思考過程論特別演習	2	
	学習過程論特別演習	2	
	行動科学特殊講義	2	
	行動科学特別演習	2	
	行動実験調査法特別演習	2	
	計量行動学特別演習	2	
	数理行動学特別演習	2	
	社会心理学特別演習	2	
	集団力学特別演習	2	
	社会学特殊講義	2	
	社会調査法特別演習	2	
	社会学理論特別演習	2	
	社会集団論特別演習	2	
	社会構造論特別演習	2	
	社会変動論特別演習	2	
	地域科学特殊講義	2	
	地域分析法特別演習	2	
	地域社会学特別演習	2	
	開発社会学特別演習	2	
	地域環境学特別演習	2	
	社会生態学特別演習	2	
	人文地理学特別演習	2	
	経済地理学特別演習	2	
	地誌学特別演習	2	
	地理学特別演習	2	
	地域調査特別演習	2	
	地域科学特別演習	2	

備考 同一授業科目で内容の異なる授業が開講される場合は、当該授業科目を複数履修することができる。

2. 博士後期課程

人文学専攻

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	博士論文指導特殊演習Ⅰ	2	
	博士論文指導特殊演習Ⅱ	2	

人間科学専攻

区分	授業科目	単位	備考
必修科目	博士論文指導特殊演習Ⅰ	2	
	博士論文指導特殊演習Ⅱ	2	

特徴ある教育プログラム

文学院の学生が受講できる、分野横断・学際的なプログラムを紹介します。

1. 教養深化プログラム

教養深化プログラムは、民間企業・公務員・教員などへの就職を希望する修士課程および博士後期課程の学生を対象とする教育プログラムです。

大学院の専門教育で専門分野の研究をさらに深めるとともに、人文社会科学諸分野の総合的な学修および文理融合・学際的な学修を通じて、「課題を発見し解決する力」、「俯瞰する力」、「複合的に考え正しく伝える力」、「行動する力」を修得し、専門知識を実社会で役立てる実践力の向上を目指します。

修了要件を満たすとディプロマを取得できます。

<https://cep.let.hokudai.ac.jp/>



2. 人間知・脳・AI 教育プログラム

人間知・脳・AI 教育プログラムは、人文社会科学・脳科学・AI 研究が交差する地点で、「人間」について多角的に学ぶ文理融合型の教育プログラムです。

北大の全大学院から年間 20 名程度を選考し、所属大学院を超えて学際的共同研究に参画していただきます。自分が専門としていない分野の知識・技能を学びながら、それぞれの専門的知見・技能をも深めていきます。人文社会科学・脳科学・AI に関する最先端の学際的研究に触れるオムニバス講義やサマースクール、英語で行うウィンタースクール、学んだ知識・技能を実地に生かすインターンシップなどで構成されています。

修了要件を満たすと修了証書が授与されます。

<https://www.chain.hokudai.ac.jp/education/>



奨学金情報

本学で取り扱っている奨学金には、日本学生支援機構、民間奨学団体及び地方自治体による奨学金があります。奨学金には、返還義務のある「貸与」及び返還義務のない「給付」があります。詳細は下記のウェブサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ » 学生生活 » 各種手続き・証明書 » 奨学金

1. 日本学生支援機構 奨学金

奨学生 申請者および採用者数

修士課程

年度	申請者	採用者	採用者の内訳		
			第1種採用 (無利子)	第2種採用 (有利子)	併用採用
2020 (R2)	17	17	17	0	0
2021 (R3)	13	13	11	1	1
2022 (R4)	24	24	22	1	1
2023 (R5)	12	12	11	1	0
2024 (R6)	27	27	24	0	3

注) 予約採用・在学採用・追加採用・臨時採用(人数枠あり)を合算した人数、緊急・応急採用(人数枠なし)と辞退者は除く

博士後期課程

年度	申請者	採用者	採用者の内訳		
			第1種採用 (無利子)	第2種採用 (有利子)	併用採用
2020 (R2)	7	7	5	2	0
2021 (R3)	2	2	2	0	0
2022 (R4)	0	0	0	0	0
2023 (R5)	2	2	1	0	1
2024 (R6)	5	5	5	0	0

注) 予約採用・在学採用・追加採用・臨時採用(人数枠あり)を合算した人数、緊急・応急採用(人数枠なし)と辞退者は除く

2. 民間奨学団体及び地方自治体等 奨学金

毎年数名が採用されています。詳しくは、下記のウェブサイトをご確認ください。

北海道大学トップページ » 学生生活 » 各種手続き・証明書 » 奨学金

研究支援

1. 院生旅費支援（共生の人文学プロジェクト）

大学院生の国際学会・全国学会での研究発表に対する旅費を支援するものです（主として航空運賃の支援、宿泊費は含まない）。「調査出張」に対しても支援をおこなっています。

応募件数および採択件数

年度	予算枠	応募件数	採択件数*		
			国際学会	全国学会	調査等
2020(R2)	350万円*	1	0	0	1
2021(R3)	318万円	2	0	0	2
2022(R4)	150万円	17	3	12	2
2023(R5)	250万円	35	7	8	6
2024(R6)	250万円*	29	6	8	9

（採択後辞退した件数は含まない）

*オンライン開催学会参加費支援含む

[文学院トップページ](#) » [文学院](#) » [共生の人文学プロジェクト](#) » [旅費支援](#)

2. 院生校閲費支援（共生の人文学プロジェクト）

国際学会・国際研究集会での発表、および、国際学術雑誌・本研究科の英文ジャーナル等への投稿を積極的に支援するために、文学院所属の大学院生に対して発表原稿や投稿原稿の校閲料を支給するものです。応募回数に制限はありません。

採択件数

年度	採択件数
2020(R2)	13
2021(R3)	22
2022(R4)	11
2023(R5)	7
2024(R6)	7

（採択後辞退した件数は含まない）

[文学院トップページ](#) » [文学院](#) » [共生の人文学プロジェクト](#) » [校閲費支援](#)

3. 文学院・文学研究院発行の雑誌(「研究論集」・「英文ジャーナル」)への投稿を支援

研究発表の機会を積み重ねることは、研究を進める上で大変重要です。文学院が発行する雑誌『北海道大学大学院文学院 研究論集』および *Journal of the Faculty of Humanities and Human Sciences*(英文ジャーナル)では、大学院生の論文発表の場を設けています。

各雑誌における採択状況

年度	研究論集 (12月発行)	英文ジャーナル (3月発行)	
	件数	応募件数	採択件数
2020(R2)	17	0	0
2021(R3)	19	3	3
2022(R4)	20	3	3
2023(R5)	22	4	4
2024(R6)	17	1	1

注) 研究論集は、2010年度から HUSCAP(北海道大学学術成果コレクション)にて公開、英文ジャーナルについては全巻を公開

[文学院トップページ](#) » [研究紹介](#) » [実績](#) » [刊行雑誌](#)

[北海道大学学術成果コレクション](#)

[北海道大学トップページ](#) » [附属図書館](#) » [資料を探す](#) » [HUSCAP](#)

4. 院生図書費支援

大学院生は毎年、一定金額の範囲内で図書を購入することができます。院生図書として登録された図書は、学位論文執筆期間中は優先的に利用することができます。

5. 院生研究室

講座または研究室ごとに院生研究室が設置されています。2022年度からは、博士後期課程学生専用の院生研究室も設置されました。ひとりが一台の机で勉強できるよう、十分な設備を整えています。文学院内で腰を落ち着けて読書、思考、執筆ができます。

6. 国際交流および留学支援

北大では、53 カ国の国や地域において、205 大学等と「大学間交流協定」を結び(2025.3 現在)、グローバル教育や研究を推進しています。その他に、文学院・文学部では独自に、24 大学と「部局間交流協定」を締結し、そのうち 13 大学と「学生交流覚書」を取り交わし、独自の交換留学制度を設けています。大学院生や学部生の語学力の向上や、国際的な研究への支援を積極的に行っています。

部局間交流協定校 25 大学・機関(2025.4 現在)

そのうち学生交流覚書を取り交わしている 13 大学：

アリゾナ大学(米国)、サセックス大学(英国)、ロンドン大学 SOAS(英国)、マンチェスター大学(英国)、デュースブルク・エッセン大学(ドイツ)、パドヴァ大学(イタリア)、ザグレブ大学(クロアチア)、パリ・シテ大学(フランス)、国立雲林科技大学(台湾)、国立高雄大学(台湾)、南京農業大学(中国)、南京理工大学(中国)、香港大学(中国香港特别行政区)

大学間交流協定校のうち学生交流協定を締結しているのは、190 大学・機関(2024.4 現在)

文学院学生の主な交換留学先：

部局間交流協定校では英国のサセックス大学、フランスのパリ・シテ大学、ドイツのデュースブルク・エッセン大学、クロアチアのザグレブ大学、大学間交流協定校では、吉林大学、ペラデニア大学、サンクトペテルブルク国立大学、モスクワ国立大学、サハリン国立大学、イルクーツク国立大学、極東連邦大学、マサチューセッツ大学、アルバータ大学など多くの大学への交換留学実績あり

留学生の受入と派遣状況

年度	受入（各年度 5 月 1 日現在の在籍者数）				各年度の派遣者数
	学部生	大学院生	研究生*	交換留学生*	交換留学生*
2020 (R2)	1	160	37	28	0
2021 (R3)	4	163	45	14	3
2022 (R4)	4	154	30	3	5
2023 (R5)	5	163	25	23	10
2024 (R6)	3	162	11	30	16

* 文学研究院・文学院/文学研究 4 科・文学部の合計

文学院トップページ » 留学・国際交流 » 国際交流・協定校紹介

[文学院・文学部「留学ガイドブック 2025」](#)



7. 受入留学生向けの支援

北海道大学では、留学生に対する支援として、渡日直後の支援を行う「サポーター制度」があります。その他、文学院では、独自の支援制度として、学習・日本語を支援する「チューター制度」を設けており、さらに 2012 年 9 月より「日本語添削プログラム」を開始しました。詳しくは、下記のウェブサイトを参照してください。

文学院トップページ » 留学・国際交流 » 留学生支援

チューター制度

チューター制度は、留学生の指導教員が選んだ学生およびチューターバンクに登録した学生が、チューターとして留学生に対して教育や研究について個別の指導や支援を行い、留学生の学習や研究効果の向上を図ることを目的としています。文学院・文学部では、2024 年度に支援をうけた留学生数は延べ 88 名、支援したチューターは延べ 59 名にのぼりました。

日本語添削プログラム

このプログラムは、留学生が執筆する論文等において、日本語の表現性を高め、研究活動をより活性化することを目指しています。2019 年からは新たなルールのもと、より学位取得に向けた支援に重点を置いたプログラムとなりました。

支援件数

年度	修士課程	博士後期課程	計
2020 (R2)	18	10	28
2021 (R3)	14	9	23
2022 (R4)	9	11	20
2023 (R5)	3	4	7
2024 (R6)	10	12	22

キャリア・経済・就職支援

1. ティーチング・アシスタント(TA)制度/ティーチング・フェロー(TF)制度

学部および全学科目の教育補助として、優秀な大学院生(修士課程・博士後期課程)をTAとして採用しています。このTA制度は、大学院生に将来教員や研究者等になるためのトレーニングの機会を提供するとともに、手当を支給しています。また、2015年度より、博士後期課程の大学院生を対象にTF制度が導入されており、教員と分担しながら授業を担うことで、さらにティーチングの技能を高め経験を蓄積することを可能にしています。

- ・TA研修会 4月開催(全学教育科目のTAが対象)

TA

年度	予算	採用件数*
2020(R2)	844万円	278(13)
2021(R3)	756万円	245(4)
2022(R4)	720万円	256(9)
2023(R5)	734万円	254(6)
2024(R6)	721万円	236(9)

* 延べ人数、括弧内は他学部院生数

TF

年度	予算	採用件数*
2020(R2)	158万円	8
2021(R3)	110万円	8
2022(R4)	100万円	8
2023(R5)	89万円	8
2024(R6)	88万円	6

* 延べ人数

2. リサーチ・アシスタント(RA)制度

研究プロジェクト等を円滑に進める研究補助として、優秀な博士後期課程の院生をRAとして採用しています。このRA制度は、研究活動の効果的な進展や研究支援体制の充実を図るとともに、若手研究者の研究遂行能力を育成することを目的としています。また、若手研究者に手当を支給することにより、研究に専念できる環境を提供します。

年度	予算	採用件数
2020(R2)	284万円	7
2021(R3)	260万円	7
2022(R4)	241万円	7
2023(R5)	259万円	12
2024(R6)	220万円	7

3. 博士後期課程院生向け支援

博士後期課程学生への研究および経済支援が拡充されています。文学院の大学院生がチャレンジできる制度は以下のとおりです。

・日本学術振興会特別研究員

独立行政法人日本学術振興会による制度。学術研究の将来を担う創造性に富んだ若手研究者の養成・確保を目的に、日本学術振興会が博士後期課程学生と博士学位取得後5年未満の研究者を支援するものです。

大学院生(DC1・DC2)研究費:年額150万円以内、生活費相当額:年額240万円

博士学位取得者(PD)研究費:年額150万円以内、生活費相当額:年額434.4万円

・博士人材フェローシップ

北海道大学では博士後期課程の大学院生の経済的負担を軽減するため、生活費および研究費を支援するフェローシップ制度を採用しています。令和6年4月からは、科学技術振興機構の次世代研究者挑戦的研究プログラムによる「ExcellenceとExtensionの融合による未来社会の開拓者育成プログラム」(EXEX博士人材フェローシップ)および、同機構の次世代AI人材育成プログラムによる「次世代AI博士人材フェローシップ」の2つのフェローシップ制度が開始となりました。詳細については、下記のウェブサイトをご参照ください。



EXEX 博士人材フェローシップ



次世代 AI 博士人材フェローシップ

4. 研究者へのキャリア支援

大学院生にとっても、独自の研究経費を確保することは大変に重要です。文学院では、日本学術振興会特別研究員への申請を支援するため、申請書の書き方セミナーを毎年開催しています。このセミナーでは申請書の書き方へのアドバイスにとどまらず、研究の進め方、研究者としての心がまえ、キャリアパスなど幅広い話題を提供します。また、2023年2月から研究推進室にて日本学術振興会特別研究員(DC)の申請書作成支援を開始しました。この他に若手研究者支援セミナーとして、学術出版に関するセミナー、キャリアパスに関するセミナー、国際的な研究活動への挑戦に関するセミナー、社会連携セミナーを開催し、さまざまな面から若手研究者の研究活動を支援しています。

・大学院生支援セミナー5月開催

・学振特別研究員DC・PD申請書の書き方セミナー 冬頃開催、書き方相談会 3月開催

- ・若手研究者支援セミナー 秋頃開催

5. 北海道大学キャリアセンター主催の企画やセミナー等

キャリアセンターは、学生とのコミュニケーションを大切にしながら就職活動をバックアップします。就職相談や就活指導、就職情報の配信ほか、公務員受験や教員採用試験も応援しています。

北海道大学トップページ 》 キャリアデザイン Navi 》 キャリアセンターのサイトへ

※詳しい日程は Web 参照。



6. 北海道大学大学院教育推進機構先端人材育成センター主催の企画やセミナー等

先端人材育成センターは、博士後期課程学生とポストドクター向けのキャリア形成支援組織です。専門知識を活かしたキャリアパスを創出するための人材育成プログラムを実施しています。キャリア相談にも応じます。

- ・Advanced COLA 人文・社会科学系大学院生のステップキャリア形成イベント 8 月開催

北海道大学トップページ 》 キャリアデザイン Navi 》 先端人材育成センターのサイトへ



7. 文学院独自のキャリアガイダンス

- ・年 1 回実施（11 月）

8. 学芸員資格取得ガイダンス

- ・年1回実施（4月）

※ 博物館実習履修者向けのガイダンスも別途実施。

9. 大学院進学説明会

- ・2025 年 6 月 20 日および 11 月 14 日 オンライン開催
研究室ごとの個別相談あり

進路情報

1. 修士課程修了者の進路

修了者は、約 25%が博士後期課程へ進学し、そのほとんどが文學院の博士後期課程で研究を続けています(過去 3 年間のデータより)。就職については、幅広い職種の民間企業に約 36%、その他教員、公務員等の職業に就いています。

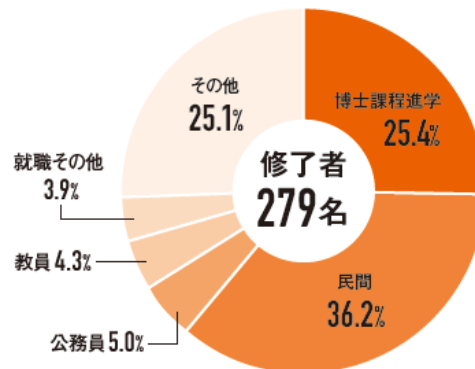
修士課程修了者の進路動向(過去 3 年間)

進路動向

〈修士課程〉過去 3 年間の進路

	修了者数	博士課程進学	就職	その他
令和4年度	85人	22人	29人	34人
令和5年度	98人	32人	51人	15人
令和6年度	96人	17人	58人	21人
過去3年間平均	—	25.4%	49.5%	25.1%

※その他の内訳: 帰国、大学院等受験準備、研究生など。



修士課程 過去3年間の進路

修士課程修了者の就職先(過去 3 年間)

官公庁

愛媛県久万高原町地域おこし協力隊
外務省
仙台市
総務省
北海道森林管理局
北海道庁
松本市役所
夕張市役所

教育・学習支援業

神奈川県教育委員会(高等学校教諭)
吉祥女子中学高等学校
金光大阪中学校・高等学校
札幌日本大学高等学校
北海道高等学校
中学校教諭
日本語教員(中国)

建設業

共同エンジニアリング
世紀東急工業

運輸業・郵便業

北海道エアポート

卸売業・小売業

自営業(茶葉の販売等)
シロ
トゥモローランド
東急百貨店
良品計画
ルビシア

学術研究、専門・技術サービス業

アクセンチュア
あずさ監査法人
アビームコンサルティング
愛媛県美術館
小樽市総合博物館
科学技術振興機構
札幌市芸術文化財団
札幌市芸術文化財団札幌芸術の森
さっぽろ青少年女性活動協会
産業技術総合研究所
自営業(デザイナー)
電通
日本学術振興会
日本国際協力センター(JICE)
日本総合研究所
PwCコンサルティング
PIGNUS
ビジョン・コンサルティング
日高町立門別図書館郷土資料館
平取町立二風谷アイヌ文化博物館
北海道大学大学院医学研究院
北海道博物館
北海道立北方民族博物館
マクロミル

金融・保険

農林中央金庫
PayPay銀行
みずば銀行(中国)有限公司

不動産

ウインドワード
JWB
都市再生機構

情報通信業

アイヴィス
朝日サービス
ESRIジャパン
エヌシーアイ総合システム
NTTデータMSE
クリプトン・フューチャー・メディア
KDDI
K-BIT
尚文出版
小学館集英社プロダクション
cinra
Speee
セーフィー
ソフトウエア・サイエンス
ダイテック
中日新聞社
TIS
デジタルデータソリューション
東映ビデオ
日本放送協会(NHK)
日本アイ・ビー・エムデジタルサービス
バクテラ・テクノロジー・ジャパン
東日本電信電話
ファームノート
フジテレビジョン
ブックスボックス
ベネッセコーポレーション
北海道新聞社
ミックウェア
モンスターラボ

製造業

岩塚製菓
SUBARU
セイコーエプソン
THK
TDK
TOPPAN
日産自動車
三井ハイテック
レゾナック

サービス業

WILLER ACROSS
エイチ・アイ・エス
HTM
エル・ティ・エス
京東(中国)
個人事業主(教育業務、飲食宿泊業務)
JTB
鈴木商会
丹青社
乃村工藝社
ペイロール
ホクレン農業協同組合連合会
楽天グループ
りんゆう観光

農業・林業

雪印種苗

医療

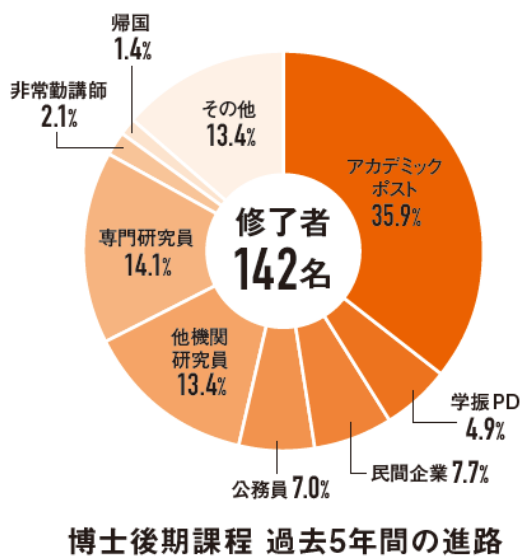
中村記念病院

2. 博士後期課程修了者の進路

博士後期課程修了者は、主に全国の大学、高校などの教員として就職しています。日本学術振興会の特別研究員 PD 制度や文学研究院の専門研究員制度を利用し、さらに研究成果を積み上げてから研究職に就く方もいます。最近はアカデミアのみならず民間企業での研究職や管理職で活躍する方も増えてきています。

博士後期課程修了者の進路動向(過去 5 年間)

アカデミックポスト	51
学振 PD	7
民間企業	11
公務員	10
他機関研究員	19
専門研究員	20
非常勤講師	3
帰国	2
その他	19
合計(人)	142



※ 単位修得退学者の進路も含む

※ 学振特別研究員 PD や、専門研究員等を経て就職したケースも含む(修了後 5 年以内)。

博士後期課程修了者の進路(過去5年間)

アカデミックポスト	民間企業
愛知淑徳大学 学修教育支援センター 常勤講師	SAPジャパン (ITコンサルタント)
大阪大学大学院 人文学研究科 講師	コープさっぽろ生活協同組合
金沢大学 人間社会研究域 准教授	シン技術コンサル
京都大学 人文科学研究所 助教	スポーツニッポン新聞社
札幌大谷大学短期大学部 保育科 講師	駿台予備校 (講師)
就実大学 人文科学部 講師	ダイワロイネットホテル
尚絅学院大学 総合人間科学系 講師	ニチリョク
星槎道都大学 社会福祉学部 専任講師	日本電信電話株式会社 (研究開発)
筑波大学人間系 助教	パーソルプロセス&テクノロジー (システムインテグレーター)
東京都市大学 デザイン・データ科学科 准教授	VISHU
同志社大学 社会学部 助教	〈中国〉
名古屋大学大学院 情報学研究科 特任助教	シーダースコミュニケーションズ
新潟大学 人文学部 准教授	公務員
梅花女子大学 文化表現学部 准教授	札幌育成園
福山大学 人間文化学部 講師	鹿追町立神田日勝記念美術館
別府大学 文学部 講師	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
北海道教育大学釧路校 講師	美幌博物館
北海道大学 アンビシャス特別助教	北海道丘珠高等学校
北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター 特任助教	博士研究員
北海道大学 総合博物館 助教	大阪大学 医学系研究科
北海道大学 人間知・脳・AI研究教育センター 特任助教	京都大学高等研究院
北海道大学 文学研究院 講師	国立情報学研究所
北海道大学 文学研究院 准教授	玉川大学脳科学研究所
北海道千歳リハビリテーション大学 共通教育 助教	帝京大学
北海道武蔵女子大学 経営学部 助教	東京外国語大学 総合国際学研究院
早稲田大学 教育学部 助教	東京大学 国際高等研究所
〈中国〉	人間文化機構 人間文化研究開発センター
廈門大学电影学院 助理教授	広島大学 大学院人間社会科学研究科
広東外語外貿大学 講師	北海道大学 文学研究院
貴州大学哲学学院	北海道大学 人間知・脳・AI研究教育センター
湖北民族大学 外国語学部 日本語科 講師	北海道大学 国際連携研究教育局 (GI-CoRE)
四川師範大学	北海道大学 アイヌ・先住民研究センター
西安音楽学院 人文学院 講師	北海道大学 スラブ・ユーラシア研究センター
西安外国語大学 日本文化経済学院 講師	〈中国〉
浙江師範大学 心理学院 講師	浙江大学 外国語言文化与国際交流学院
浙江伝媒学院 講師	海南大学
汕頭大学 法学院公共管理学科 講師	〈台湾〉
〈スペイン〉	国立中興大学 人文社会科学高等研究センター 博士研究員
サラマンカ大学	〈フィリピン〉
日本学術振興会特別研究員 (学振PD)	フィリピン国立博物館
金沢大学	〈英国〉
京都大学	サセックス大学
筑波大学	文学研究院専門研究員
東京大学	その他
東北大学	イラストレーター
南山大学	神主
	サイエンスライター
	通訳
	俳人
	翻訳家
	他大学大学院進学

学位論文題目

令和6年度の学位論文題目は、以下のとおりです。過去の学位論文は、文学院ウェブサイトに掲載しています。

文学院トップページ » 文学院 » 過去の修士・博士論文題目

1. 修士論文

【人文学専攻】

- 想像は像性をもつか
- 教育方法論の改革としてのカント哲学～知的徳 (intellectual virtue) を手掛かりとして～
- PVS 患者に対する延命治療の倫理的妥当性の検討－AHN に焦点を当てて－
- On Correspondence Pluralism (対応多元主義について)
- 科学一般に関する田辺元の言説について－「常識」の概念に着目して－
- 「死への恐怖」の合理性を巡る考察－剥奪説の発展的解釈に基づく「死を恐れること」の根拠の検討－
- On the Absence of the Cosmic Meaning (宇宙的意味の欠如について)
- 現代における修行の形成と働き——曹洞宗安泰寺を事例として
- ロシアの死生学 [特定課題研究]
- 内村鑑三の霊性の構造—「靈魂」「霊」「靈性」—
- 北海道開拓における「宗教的な移住団体」の実像
- 近世後期蝦夷地における松前藩の「国法」認識
- 室町幕府・鎌倉府間の境界領域における越後守護上杉氏の位置づけ
- 明治憲法制定過程における君主権制限の一断面
- 近代日本における司法官僚の行刑改革と国体思想
- 鎌倉末期における東寺領播磨国矢野荘例名の確立過程
- 植林と植民：フランス領アルジェリアにおける外来熱帯植物順化運動
- 宋代における梓潼信仰をめぐる儒家の立場
- 脱植民地期のフランス領西アフリカにおける黒人エリート
- 19 世紀ウィーンにおける音楽活動とナショナリズム
- 第2次世界大戦後のイギリスにおけるレイシズム
- 小樽市忍路土場遺跡出土種実の研究
- 日本の都市におけるイレズミ研究－彫り師の経験を手がかりに－
- 一平等となる聖地 遊びの樂園－札幌市クロスフィット SSC における人類学調査報告
- 現代短歌の文化人類学的研究 癒しとしての遊び
- 異分野融合型研究所の日常と実践 ——北海道大学人間知・脳・AI 研究教育センターのエスノグラフィー
- Music as a Peace Resource : Examining Efforts and Impact of a Kosovar Band in the Western Balkans (平和資源としての音楽——西バルカンにおけるコンヴォ系バンドの活動と影響を考える)
- 須田国太郎が目指した「東西の絵画の総合」—《犬》を中心に—
- ドナルド・ジャッドの芸術と哲学—領域横断的实践における〈翻訳〉の試み—
- 乳幼児と保護者による美術鑑賞の可能性
- J.M.W.ターナーの自然観における循環の意識と月の描写
- 視覚障がい者の博物館参加がもたらす変容とその意義-兵庫県立美術館と神戸アイライト協会の事例を通じた関係性の考察-
- 対話型鑑賞のファシリテーターにおける熟達過程— 暗黙知に着目したインタビュー分析 —
- 東日本大震災の伝承施設等設置の要因と地域への意義に関する研究—施設整備・運営担当者への聞き取り調査をもとに—
- 17 世紀から 19 世紀後期におけるアイヌ民族の鯨類獲得方法——文献史料の分析による捕鯨説・寄鯨利用説の再検証
- Tactile Imagination and a Militant Surrealist Attitude: Jan Švankmajer's Adaptations of Edgar Allan Poe (触覚的想像力と「戦闘的」シュルレアリストの態度—ヤン・シュヴァンクマイエルによるエドガー・アラン・ポーの翻案)
- Queer Consent in Violent Pornography: Questions Sexual Agreement through Harriet Daimler's Writings (暴力的ポルノグラフィーにおけるクイアな同意—ハリエット・ダイムラーの描写から性的同意を問う—)
- 近世前期テキストにおけるスサノヲの受容—牛頭天王譚を中心として—
- 『とりかへばや物語』の表現—〈光〉と〈きよら〉—
- 日本古代王権神話における「草木言語」
- 『性自命出』における禮・楽・情について
- 犬の表現から見たチベット現代文学
- 撒尼人の阿詩瑪から新中国の阿詩瑪へ：映画『阿詩瑪』の女性像と新中国の社会政策
- 師陀の小説『結婚』における「恋愛」
- 『東坡易傳』による蘇軾の性命観の研究
- Life and Death in Shanghai の中国語訳本に関する調査と比較研究
- 『伝習録』における王陽明の死生観-朱熹の死生観と比較して

- 黄老思想と馬王堆漢墓『経法』等四篇について
- 死生・情欲・諧謔——明清文学における「馬桶」
- 『商君書』における「姦民」に関する研究
- 『論語』における「唯女子與小人爲難養也」の解釈に関する研究
- 太宰治作品における「家庭」
- 『NEEDY GIRL OVERDOSE』研究—「インターネットエンジェル」の成立と展開
- 中島梓／栗本薫論
- 押見修造の反時代的マンガ『ぼくは麻里のなか』と『血の轍』を中心に
- 周浩ドキュメンタリー作品の考察〔特定課題研究〕
- つげ義春マンガにおける内語研究
- 江戸川乱歩における人物と語り—『パノラマ島奇譚』を中心に—
- 中国語における「把」構文に関する研究
- アラビア語シャーム方言における語形変化—動詞の $\text{\text{ʔam-}}$ 接頭辞活用形の意味をめぐって—
- 日本語の格助詞「に」と英語の前置詞の意味的対応関係
- 滋賀県湖南方言における式の音調のゆれ
- 重慶方言母語話者による歯茎鼻音[n]と側面接近音[l]の混同について—世代差を中心として—
- 現代中国語隠語における造語法の分析—邵(2014)の分類法との比較を通じて—
- 副助詞バカリの意味について—〈限定〉〈程度〉〈概数量〉の共通性をめぐって—
- 現代日本語における形容詞の装定・述定用法の比較分析
- 「怒り」と「悲しみ」に関する慣用句表現の日中英対照研究
- 事象叙述と属性叙述の転換についての考察
- 中国語粵語方言における発音のユレ状況について
- アイヌ語における証拠性形式の語用論的研究
- アイヌ民族に関する学校教育と和人研究
- アイヌの口頭伝承におけるトバットゥミ—歴史との接続
- 北海道、樺太、アムール河下流域の諸民族の口承文芸に関する比較研究—口承文芸におけるクマを中心に—

【人間科学専攻】

- 聴覚情報の潜在記憶—測定方法による保持性質及び脳内基盤の違い—
- 異なる言語表記を使うことがパッケージ・Tシャツ・待ち受け画像の印象評価に及ぼす影響
- 色への好ましさと瞳孔径の関連
- 短時間動画の視聴経験におけるピーク・エンドルール
- 言語的作業記憶負荷が情景画像の自由観察中の眼球運動に及ぼす影響
- 単純な繰り返しの刺激呈示が好ましさと瞳孔径に与える影響の再検討
- 物体の典型色が指示忘却に与える影響
- マスク遮蔽による顔魅力の変化—魅力報酬性に基づく新たな魅力測定手法の検討—
- Does relational mobility lead to social differences in positive and negative reputations? The examination in our daily lives
(関係流動性はポジティブ・ネガティブ評判の社会差をもたらすか？日常の評判情報に着目した検討)
- 斜行伝達による非適応的文化進化:シミュレーションによる生起条件の検討
- 飼育下のウマの母子における感覚的側方化—関連する要因・発達に伴う変化に着目して—
- 双减政策の下における家庭資本と教育戦略の選好—中国合肥市における異なる階層の中学生の保護者を比較して—
- 中国「女性離郷高齢者」の主観的ウェルビーイングに対する宗教の役割—四川省成都市の仏教寺院を事例に—
- 中国の隔世育児における女性離郷高齢者の家庭苦境について—母親業の視点から—
- 中国における現代宗教が失独高齢者に与える精神的な支援—ソーシャル・キャピタルの視点から—
- 現代中国都市における一人っ子家族の世代間関係—結婚・出産観についてのジェネレーションギャップから—
- 地域生態系保全を指向した動物園展示が来園者に与える影響—札幌市円山動物園・旭川市旭山動物園を事例に—
- 在日韓国人大学生の日常生活と民族団体の関係性—民団学生会参加者を事例として—
- エスポラーダ北海道の地域密着型運営に求められる役割と連携のあり方—スポーツ振興に関わる連携先の声に注目して—
- 混合世帯の農村生活への適応要因—山口市阿東地域の移住世帯を事例に—
- 高齢化・固定化する森林ボランティアの活動における複層的な意味
- 屋敷林「イグネ」のある暮らしと自立の論理

2. 博士論文

博士論文題目は、文学院ウェブサイトだけでなく、北大附属図書館で提供している「学位論文目録データベース」でも検索することが可能です。平成25年4月以降授与分については、原則 HUSCAP(北海道大学学術成果コレクション)で博士論文全文が公表されています。

【人文学専攻】

- Philosophical Intuitions in the Free Will Debate: Unraveling Boundaries and Insights
(自由意志論争における哲学的直観:境界と探求と新たな視座)
- 直観と道徳的判断に対するピーター・シンガーの立場とその補完:道徳的正当化を中心に

■学位論文題目

- 共感する我—メヌ・ド・ピランの心理学と道徳の基礎についての試論
- H.G. ガダマー『真理と方法』における存在の遊び—芸術、伝承、言語の呈示的本性をめぐって—
- Toward a Credible Form of Scanlonian Contractualism (スキャンロンの契約主義のもっともらしい形態の構築に向けて)
- 後藤新平研究—「大日本主義者」の国家構想—
- 幕末期加賀藩の政治と海防
- 第二次世界大戦後の南サハラにおける「混在」生活
- 「関帝」の誕生—明中後期の関羽信仰
- 北海道における縄文時代の墓と社会
- 観光地を生きる人々—中国・貴州省西江(シ・ジャン)ミャオ寨の観光人類学的研究
- 出土『日書』と先秦数術家の世界観
- 日本語と中国語における分配量化と全称量化の生成文法による分析
- アイス語否定表現の語用論的研究—口承文芸テキストを中心に—
- 利用者の主体性を促す展示に関する研究—都道府県立博物館の常設展示を事例として—
- ミュージアムにおけるビデオゲームアーカイブズ考—展示評価実践によって顕在化した来館者のニーズと現状との差異—
- 北東アジアにおける国際協力を通じた地方振興に関する考察
- Vulnerability as the Beginning of Care in Modernist Literature: F.Scott Fitzgerald, Raymond Chandler, Henry Miller, and J. D. Salinger
(モダニズム期のアメリカ文学におけるケアのはじまりとしての傷つきやすさ—— F. スコット・フィッツジェラルド、レイモンド・チャンドラー、ヘンリー・ミラー、J. D. サリンジャー)
- Formal Truth as Provability: Proof-Theoretic Studies (証明可能性としての形式的な真理: 証明論的研究)
- 大和屋竺論—「恐怖映画」を中心に—
- 清末新政期の鴉片政策と中央・省関係—政策評価の問題を中心として
- An Investigation Into Addition of Classical Negation to First-Order and Generalized Intuitionistic Logic
(一階および一般化された直観主義論理に対する古典的否定の追加に関する探究)

【人間科学専攻】

- 協力及びその文化差の起源を探る—文化的集団淘汰理論に基づく理論・実証的検討—
- 人口減少時代における中国農村地域と宗教団体—ソーシャル・キャピタルの視点から—
- Relational mobility as a socio-ecological foundation of prosocial minds and behaviors
(向社会心理・行動における社会生態学的基盤としての関係流動性)
- 社会的受容性の高い野生動物保全の課題: インドネシア共和国カリマンタン島焼畑農耕民による商業的野生動物猟の民族誌的研究

----文学研究科(H30年度以前の組織)の修了者---

【思想文化学専攻】

- Organ Transplantation Metaphors A Comparative Corpus-Based Study of Life Depictions in Newspapers
(臓器移植のメタファー—コーパスに基づいた、新聞における命の表現に関する比較研究)

【歴史地域文化学専攻】

- 南北朝期官人陰陽師の研究

【言語文学専攻】

- ウェブ小説研究-ネット社会における模倣的創造文化の可能性について
- 身体・動作・空間—中華圏アクション映画に関する研究

【人間システム科学専攻】

- 協力と罰の共進化: 罰に対する感受性を中心とした理論的および実証的研究

北海道大学トップページ > 附属図書館 > 資料を探す > 学位論文データベース

北海道大学トップページ > 附属図書館 > 資料を探す > HUSCUP

北海道大学 大学院文学院

〒060-0810 札幌市北区北 10 条西 7 丁目

<https://www.let.hokudai.ac.jp/>
